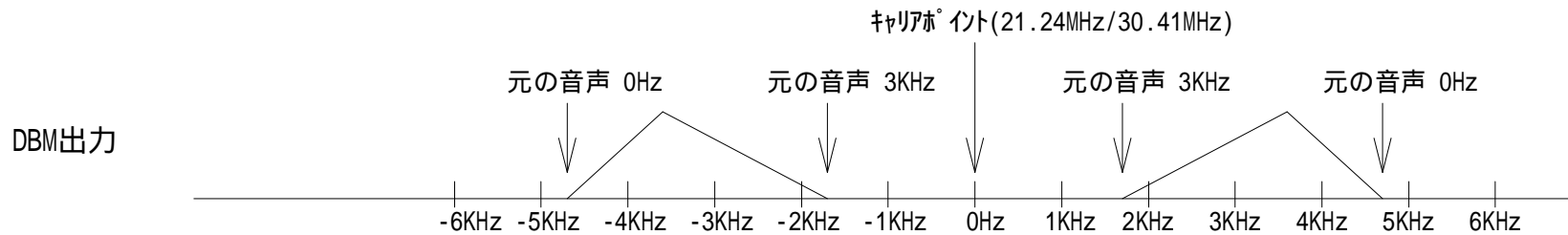
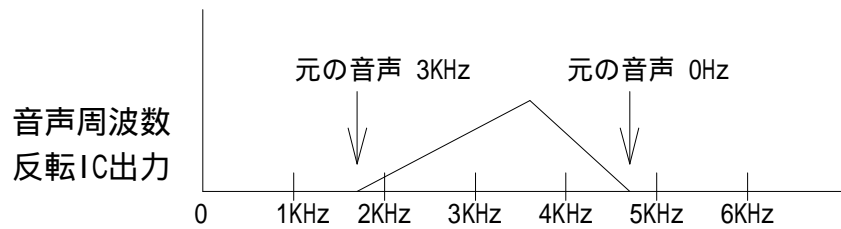
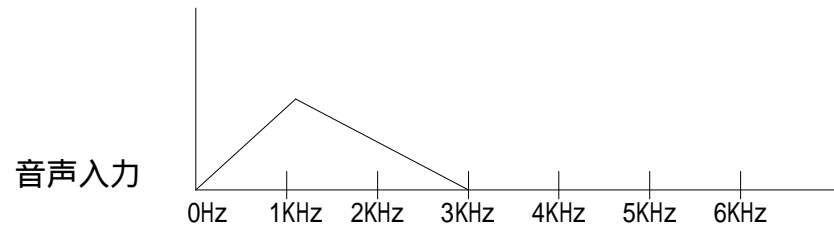


NTS-200, NTS-700 SSBジェネレータの秘密



NTS-200では、21.24MHz、NTS-700は30.41MHzでSSBを生成しています。通常のフィルタタイプSSBジェネレータの場合、この周波数では不要側波帯の抑圧が難しく、10MHz程度までが限界です。

そこで、音声周波数反転(スクランブラー)のICを使用すると、キャリアointと不要側波帯の周波数間隔が広げられることを利用します。

左図のように、通常キャリアointは数百Hz以内ですがこの方法により1.7kHz以上になります。(反転ICのクロック周波数を高めにするのがミソ)

不要側波帯は、3.4kHz以上離れることとなりますから、20~30MHzにおいてもフィルタタイプSSBを容易に生成できることとなります。

(CQ誌1992年11月号 P274 参照)